

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会
関係府省庁連絡会議（第12回）議事録

日 時：令和2年2月7日（金）11：40－11：55

場 所：総理大臣官邸2階小ホール

出席者：

議長	内閣官房副長官（事務）	杉田 和博
議長代行	内閣官房東京オリンピック ・パラリンピック推進本部事務局長	平田 竹男
副議長	内閣危機管理監	沖田 芳樹
	内閣官房副長官補（内政担当）	古谷 一之
	内閣官房副長官補（外政担当）	林 肇
	内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）	前田 哲
	文部科学事務次官	藤原 誠
構成員	内閣情報官	瀧澤 裕昭
	内閣法制次長	岩尾 信行
	内閣府事務次官	山崎 重孝
	警察庁長官	松本 光弘
	金融庁総合政策局総括審議官【金融庁長官代理出席】	白川 俊介
	消費者庁長官	伊藤 明子
	復興庁事務次官	末宗 徹郎
	総務事務次官	黒田 武一郎
	法務事務次官	辻 裕教
	外務事務次官	秋葉 剛男
	財務事務次官	岡本 薫明
	厚生労働事務次官	鈴木 俊彦
	農林水産事務次官	末松 広行
	経済産業事務次官	安藤 久佳
	国土交通事務次官	藤田 耕三
	環境事務次官	鎌形 浩史
	防衛事務次官	高橋 憲一

【諸戸統括官】

ただ今より、第12回 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会関係府省庁連絡会議を開催します。開催に当たり、杉田副長官からご挨拶をいただきます。杉田副長官、よろしくお願いたします。

【杉田副長官】

11月の開催に続き、急きょお集まりいただきありがとうございます。オリンピック・パラリンピック東京大会まで残すところ半年を切っております。そして、3月26日にはいよいよ聖火リレーが福島からスタートいたします。

各府省庁にあっては、前回もお願いをさせていただいた各種の施策について着実に進めていただいているところであります。大会を成功に導く一番大事なことは、やはり大会運営が滞りなく行われるということです。大会本番になれば、おそらく、一般の交通量は全体的にもっと増えてくるはずですが、加えて、必ずしも我々が考えているとおりに人は動かず、いろいろな事態が想定され、不確定要素が増えてきます。そういう意味では、ゆとりのある計画を立てないと、なかなか運営がうまくいかないという恐れがあります。そのため、今回の会議では、交通対策に主眼を置いて、本番における大会輸送と経済活動、市民生活の共存に向けて、関係府省庁それぞれの推進事項について改めてお願いしたいと考えております。

新型コロナウイルスの問題もあり非常にご多忙な中、大変恐縮ではありますが、各府省庁においては積極的に取組を進めていただけますようお願いいたします。

【諸戸統括官】

それでは、議事に入ります。本日の議事は報告事項です。

「最近の取組と交通対策に係る今後の取組」について、平田事務局長よりご説明をお願いします。

【平田事務局長】

資料1-1をご覧ください。最近の取組についてです。

東京大会を最高の大会とするため、セキュリティを始めとする各項目について、関係府省庁等と連携して取組を進めてまいります。

資料1-2をご覧ください。特に交通対策については、昨年夏の試行を踏まえ、本番における大会輸送と経済活動、市民生活との共存に向けて、働きかけによる交通量削減の更なる上積みをはじめとした取組の強化等が必要です。

このため、

- ・ 物流業者・荷主が連携した道路交通量の削減について、多様な業種や中小事業者への働きかけの強化
- ・ マイカー・駐車場対策を含む道路通全般やピーク時間帯の通勤需要の削減に向けて、政府広報を含む多様な媒体の活用など
- ・ 交通量削減方針の早急な策定。例えば、原則全ての職員のピーク時間帯を避けた出勤、公用車使用及び不要不急の納品の原則禁止など
- ・ 首都高の料金施策の着実な準備と幅広い周知
- ・ 交通規制の具体的な検討と前広な周知

をはじめとする各種対策に関係府省庁がそれぞれしっかり取り組んでいただけるようお願いいたします。

また、感染症については、昨年8月に策定した「東京大会に向けた感染症対策に関する推進計画」に基づき対策を進めていますが、新型コロナウイルス対策についても、政府対策本部の対応を踏まえ、組織委員会、東京都等とも緊密に情報共有を図りながら、関係者一丸で取り組んでまいります。

【諸戸統括官】

ありがとうございました。これまでの説明に対しご意見がある方はご発言をお願いします。まずは、警察庁 松本長官お願いいたします。

【松本長官】

大会警備を実施する上でも円滑な大会運営は重要な基盤であり、その実現のためには、交通対策を効果的に実施してまいりたいと考えております。大会期間中は、首都高速道路を中心に必要な交通規制を実施する予定としておりますが、交通総量抑制対策は、そうした交通対策の不可欠の前提です。警察庁としても、関係府省庁と連携して、その必要性について周知を図ってまいります。

【諸戸統括官】

国土交通省 藤田次官お願いいたします。

【藤田次官】

国土交通省としましては、大会期間中の円滑な輸送の実現に向けまして、TDMをはじめとする交通対策の周知、荷主と物流事業者が連携した物流分野での交通量削減の働きかけ、首都高の料金施策等について、関係機関や事業者等と連携してしっかりと取り組んでまいります。

【諸戸統括官】

経済産業省 安藤次官お願いいたします。

【安藤次官】

経済産業省としましては、昨年10月から今年1月にかけて、特に交通需要の多い33の業界団体を特に選ばせていただきまして、そうした方々に対して協力依頼を行ってまいりました。各業界からは賛同をいただいたところです。

今後、東京都や関係各省の皆様方と連携をさせていただきながら、これらの業界団体、更には手の届きにくい中小事業者の皆様方に対しましても、引き続き協力要請を行ってまいります。

【諸戸統括官】

農林水産省 末松次官お願いいたします。

【末松次官】

農林水産省といたしましても、所管団体・事業者向けに説明会を開催するとともに、先行する企業の取組例も共有しながら、様々な協力を依頼してまいりました。食品、外食とも大手を中心としてご理解を得て、準備を進めていただいております。今後は、中小の方々を中心に事業者の取組がさらに進むように、東京都や関係府省庁と連携しながら、働きかけを一層強化してまいります。

【諸戸統括官】

ありがとうございました。発言はここまでとさせていただきます。最後に、杉田副長官から、一言ご発言をお願いいたします。

【杉田副長官】

先ほど申し上げたとおり、大会まで残り半年を切っております。大会を成功に導くため、各府省庁においてしっかりと準備を進めていただけますようよろしくお願いいたします。

【諸戸統括官】

ありがとうございました。本日はここで閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。